

平成30年 第2回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、平成30年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

文化庁は先日、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定する「日本遺産」の結果発表を行い、県内から2件が初めて選ばれました。その中のひとつが本市穂坂町の女夫石遺跡と円野町の石之坪遺跡からの出土品を含む「星降る中部高地の縄文世界 数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅」とした歴史的なストーリーであります。

両遺跡からは黒曜石の加工品や貴重な土器が多数出土しており、今回の認定を受け両遺跡の魅力を伝え観光振興につなげるとともに、他の構成文化財とも連携した地域活性化事業にも取り組んでまいります。

さて、私が市長に就任して以来、早や4年目を迎え、任期も残すところ5か月余りとなりました。今日まで「市民目線の活力あるまちづくり」を市政運営の基本姿勢として、超高齢化社会と人口減少社会に立ち向かい、各種施策を積極果敢に展開してまいりました。これもひとえに議員各位をはじめ市民の皆さまのご支援とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

現在策定中の、第7次総合計画につきましても、審議会並びに多くの市民にご参加いただいているチーム葦崎での検討経過を踏まえ、本市の描く将来像として「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき」を掲げることといたしました。

基本構想を基に、チーム葦崎で活力あるまちづくりを実現するための、7つの基本方向を分野毎にご審議いただいておりますが、引き続き、庁内各課と策定本部会議による実効性の検証なども行いながら作業を進めてまいります。

なお、7月14日にはまちづくりシンポジウムを開催し、基本構想の概要をお示しするとともに、広くご意見いただきながら、新たな時代に即した総合計画を市民の皆さまとともに作り上げてまいります。

先般の地域経営専門誌・日経グローバルの調査によりますと、本市の平成30年度当初予算における法人市民税は、対前年度増加率が70.7パーセントと全国787市中、第5位にランキングされました。これは、半導体製造業をはじめ市内企業の業績好調によるものと推察され、非常に喜ばしくまた、誇らしく感じております。市といたしましても引き続き、地域経済を支える企業を積極的に支援し、産業振興とさらなる税収確保につなげてまいります。

駅前中央通りのシンボリックな建物であった「アメリカヤ」が15年の歳月を経て、先月上旬、再びその看板に明かりを灯すこととなりました。

開業までの道のりは、若く情熱あふれた一人の建築士が高校時代の通学途中に、日々葦崎駅から見たアメリカヤに想いを馳せ、ついに現実のものとし復活させたものであります。

この度の開業にあたっては、市空き店舗改修事業の活用など、積極的な支援を行ったところでありますが、若者が知恵と行動力によりここまで手掛けた事に感銘を覚えるとともに、駅前の立地を活かしたニコリとの相乗効果により、まちの賑わいが創出され商店街の活性化につながることを期待しております。

間もなくサッカーワールドカップがロシアで開幕されます。「サッカーのまち・にらさき」として、初戦である19日のコロンビア戦を含め予選3試合をニコリにおいて市サッカー協会、葦崎青年会議所のご協力のもとパブリックビューイングを開催いたします。日本代表チームを市全体で応援し、大会を盛り上げるとともに、ワールドカップを通じて、サッカーに興味を持ち、さらにヴァンフォーレ甲府の支援の輪が広がるよう呼びかけてまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取り組みについて申し上げます。

まず、子育て環境の充実についてであります。

来る7月22日、ニコリ全館を活用した、「にらちびフェスティバル」を開催いたします。子育て支援に関わる機関や団体がワークショップやフォトコンテストなど様々な趣向を凝らしたブースを設け、活動内容の紹介や情報提供を行い、子育てに関わる方々との交流を深める機会として、多くの皆さまのご参加をお願いするものであります。

次に、防災体制の強化についてであります。

自分の家庭や地域を守る減災リーダー育成のため、これまでの研修に加え新たに、2日間で修了する集中研修会を8月に開講いたします。また、より多くの皆さまの受講機会を拡大するため、地域行事の一環として出前塾形式の研修会を計画し、自助・共助の強化を図ってまいります。

次に、企業誘致の促進についてであります。

上ノ山・穂坂地区工業団地第2期造成事業は、秋頃の完成を目指し整備を進めております。企業の誘致につきましては、2社と当該団地への入居について協定を締結したところであり、さらに数社から問い合わせをいただいております。

また、国の「生産性向上特別措置法」に基づき、既存企業も含む中小企業の新たな設備投資にかかる固定資産税の減免制度を創設し、中小企業の経営力向上を支援してまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

本市を代表する偉人の一人である権藤はなよの功績を称え、6月9日からサマールミネーション in にらさきを開催いたします。また、7月7日のたなば

た当日に予定している、子どもたちによる童謡ミニコンサートやニラマルシェ、穴山公民館主催のたなばた詩碑を訪ねる歴史散策など関連行事を含めて、まちなかの賑わいと新たな魅力の創出に努めてまいります。

また、新たな事業として「ピアノ・ストリート 音楽に出会う散歩道」を10月の「武田の里フェスタ・葦崎」と同時に開催いたします。

市民の皆さまから寄贈されたピアノを装飾し、街中の一角に配置することで、日ごろピアノに触れたことがない人や昔を思い出して久しぶりに弾いてみたい人など、だれでも自由に参加していただき、一緒に歌うなど街中に笑顔とサプライズを生み出し、訪れる皆さまの心に残るイベントとして企画してまいります。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を2年後に控え、インバウンドや交流人口の相乗効果の把握と観光振興に繋げるための情報発信を目的に、去る4月12日・13日の両日、本市で初めての外国人モニターツアーを実施いたしました。

観光名所巡りや山菜採り、古民家での郷土料理のおもてなしなどには高評価をいただきましたので、今後、関係各課で連携と検証を重ね、本市の活性化に繋げてまいり所存であります。

次に、開かれた行政の推進についてであります。

今国会において、「政治分野における男女共同参画推進法」が成立いたしました。今後、地方の政治における女性の参画拡大を図るため、本市におきましても、女性の視点による意見や提案を活力あるまちづくりに反映するとともに市政への関心を高めるため、今回で2回目となる女性議会を8月8日に開催いたします。

女性団体連絡協議会をはじめ男女共同参画推進委員会、子育て支援サークルなどの構成団体に加え、大学生にも議員としてご参加いただき、女性の視点による活発な質問や議論が展開されることを期待しております。

次に、地方創生事業についてであります。

青少年育成プラザ・ミアキスでは、7月に東西中学校の2年生を対象に葦崎版職場体験プログラムを行います。中学生に働くことへの興味や関心を高めてもらうとともに、将来のUターン就職の増加を狙ったもので、既に様々な職種の企業から受け入れ参加のご協力をいただいたところであります。

これに先立ち、先月末には東西中学校において、「葦崎しごと展」と題した合同企業説明会を開催し、生徒に対し各企業による仕事内容の紹介などが行われました。

カムバック支援事業の目指す、地元回帰のための主要事業として、今後も力を注いでまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の3月議会以降の新

たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件 11 件、
予算案件 2 件、
条例案件 4 件、
その他の案件 2 件であります。

まず、平成29年度予算の専決事項についてであります。

3月補正予算編成後において、地方譲与税並びに特別交付税等の交付額確定、また、各種事業費の確定により、総額1億2,725万3千円の減額補正の必要が生じたので、平成29年度一般会計補正予算第6号を専決し、対処いたしましたところであります。

また、国民健康保険特別会計は特別調整交付金の交付額確定により、4,000万円の増額となり、平成29年度国民健康保険特別会計補正予算第2号を、下水道事業特別会計は事業費確定により、2,787万5千円の減額となり、平成29年度下水道事業特別会計補正予算第3号をそれぞれ専決し、対処いたしましたところであります。

次に、平成30年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

まず、民生費であります。

介護保険制度の改正に伴うシステム改修経費の財源として、介護保険特別会計繰出金に244万円を追加計上するなど、総額497万6千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

朝穂堰の^{しらすな}白砂隧道の崩落により、穂坂町地内の受益地に用水を確保するため、土地改良区が実施する緊急対策費用の一部負担金として、県営かんがい排水事業費に599万2千円を追加計上するなど、総額1,140万2千円を増額補正しております。

次に商工費であります。

先に申し述べました、「ピアノ・ストリート」イベント開催経費を、観光振興事業費に追加計上し、総額154万3千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

土砂崩落のありました市道穴山1号線の法面の地質調査等の経費として、市単独道路整備事業費に1,390万5千円、市営円野住宅A棟の外壁等改修工事の経費として、市営住宅改修事業費に4,738万1千円を追加計上するなど、総額6,238万6千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

幸福の小径に設置しました立体作品の写真などを掲載した案内冊子作成経費を、まちなか美術館事業費に追加計上し、総額61万1千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、8,091万8千円の増額補正となり、現計予算額は、137億91万8千円となります。

次に、特別会計についてであります。

介護保険特別会計につきましては、制度改正のためのシステム改修経費として、介護保険運営費に335万1千円を追加計上し、現計予算額は、23億7,985万3千円となります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

平成30年6月7日

菟崎市長 内藤 久夫